

令和4年3月22日

予算決算委員長 神田 廣栄 様

提出者 坂井 洋介
賛成者 神子 そよ子
松崎 さち
金沢 和子
岩井 友子

令和4年度船橋市一般会計予算案に関する組み替え動議

議案第1号令和4年度船橋市一般会計予算案については、下記の通り組み替えを行い、再提出するよう、動議を提出する。

記

1. 提案理由

消費税が10%に引き上げられ、市民の暮らしと共に市内経済は大打撃を受けた。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で市民生活及び市内経済は疲弊し続けている。とりわけ、子育て世帯、自営業者、中小零細企業、非正規雇用、高齢者などへの影響は深刻である。

こうした災害とも言える事態の際に、地方自治体の果たすべき役割は市民の暮らしと命を守るための施策を行うことである。しかし、船橋市はコロナ禍においても「行財政改革」を強行し、国民健康保険料の引き上げなどを実施しようとしている。コロナ禍において福祉の後退は許されないものだと考え、予算の組み替えを提案する。

以下、組み替え予算案の概要を説明する。

第1に、国民健康保険料引き上げは中止する。

第2に、子育て世帯を支える施策として、学校給食費の第三子以降無償化を実施、子どもの医療費扶助を18歳まで拡大する。また、生理の貧困対策として学校のトイレに生理用品を配置する。

第3に、教員の多忙化解消、新型コロナウイルス感染症対策、ICT支援業務、カウンセリング業務などに学校が自由に活用できるスクール補助員制度を設ける。

第4に、難聴高齢者の社会参加促進のため、補聴器購入費助成金の対象者拡大と助成額を10万円にする。

第5に、公共施設保全等基金は財政状況を不透明にするものであるため取り崩す。

第6に、無駄で無謀な海老川上流地区土地区画整理事業は中止する。

2. 組み替えるべき事項

単位：千円

歳入減		
	財源調整基金繰入金	2,500,000
	市債の減額	449,900
	学校給食費実費徴収金	75,000
	公共施設保全等基金運用収入	879
歳入増		
	公共施設保全等基金取り崩し	3,000,000
歳出減		
	公共施設保全等基金積立金	4,179,732
	海老川上流地域新駅設計費	157,132
	海老川上流地区土地区画整理費	491,000
歳出増		
	国民健康保険事業特別会計繰出金	565,121
	生理の貧困対策	19,853
	スクール補助員制度	147,600
	子どもの医療費扶助18歳まで拡大	355,238
	高齢者補聴器購入費助成金	55,890
	財源調整基金積み立て	3,658,383
		以上